

宮
01

いいな故里は、守ろう原陸み会(富士宮市) ～富士山からの伏流水の恵みにより生まれし田園地帯～



1. 取組面積

水田	29 ha
畑	4 ha
草地	— ha
合計	33 ha

2. 活動内容

農地維持	平成19年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、小学校、民間企業(福祉関係)、女性会

4. 主な取組内容、活動写真



三極の栽培・加工により、子供達
が自らの卒業証書を作成

地域住民との交流として、平成棚
田ウォーキングを年に2回開催



○活動組織からのメッセージ○

この地域は、県営ほ場整備事業により大区画化された水田(平成棚田)を中心に地域資源の保全管理や農村景観の向上等の活動に取り組んでいます。地域を巡るウォーキングコースを整備し、春・秋のウォーキング大会を開催しています。また、地域交流の場を設け、大人から子どもまで、地域住民との関係づくりも大切にしています。

縄文の里「おおしか幸区」(富士宮市) ～ゆったりのんびり柚野の里・富士の麓の休暇邑～



1. 取組面積

水田	17 ha
畑	1 ha
草地	— ha
合計	18 ha

2. 活動内容

農地維持	平成19年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、その他(用水組合)

4. 主な取組内容、活動写真



(田植え)都市住民「久保の棚田を
楽しむ会」の稻作作業

(七夕つづあん)毎年8月に地元住
民と共に七夕まつりを開催



○活動組織からのメッセージ○

本地域は富士山の湧水を水源とした芝川の水を引く農業用水路が、網の目のように張り巡らされた田園地帯です。「静岡県棚田10選」や「静岡県景観賞」に輝くほどの景観と、縄文草創期の集落跡「大鹿窪遺跡」などの地域資源を保全し、地域内外との交流活動を進めながら、これらの資源を次世代へつなげていきたいです。



1. 取組面積

水田	37 ha
畑	4 ha
草地	— ha
合計	41 ha

2. 活動内容

農地維持	平成22年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

営農組織、自治会、その他(地区消防団、体育振興会、交通分会、小中PTA、地区漁協)

4. 主な取組内容、活動写真



秋には田んぼと道路の間に彼岸花が咲き、彼岸花ロードとなる

耕作放棄地を利用し、日本大学の学生と一緒に育てた、さつまいもの収穫



○活動組織からのメッセージ○

この地域は、日本大学生物資源科学部と協働して、休耕田で稲作をしたり、さつまいもから焼酎を作っています。また、彼岸花の植栽を8年以上行っています。今年度も、球根が育ってきれいに咲き誇りました。そして、初めての試みで、令和元年に彼岸花写真コンクールを実施し、多くの作品の応募がありました。

南条の里農地保全会(富士宮市)

～富士山の伏流水と肥沃な火山灰の黒土によって生まれた穀倉地帯～



1. 取組面積

水田	43 ha
畑	14 ha
草地	— ha
合計	57 ha

2. 活動内容

農地維持	平成23年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、中学校、老人会、民間企業(建設、自動車、酒造、IT関係)

4. 主な取組内容、活動写真



学生と大豆を栽培し常葉大学に提供、まるとこ豆腐・味噌に加工

富士山をバックにクッションマムを植栽、10月下旬には満開、見ごろ



○活動組織からのメッセージ○

この地域は、鎌倉幕府の地頭“南条時光”によって開かれた優良官地であり、現在も大字として上条、下条、精進川、馬見塚があります。また、活動では、世界文化遺産「富士山」の景観を生かす事を主体に考え、クッションマムやそばを栽培し、景観形成に努めています。